



栗崎三様の紹介
栗崎 きよみ様 妻



(NO374)
特別養護老人ホーム
筑波キングス・ガーデン
0297(24)5139

私の主人は、昭和三十七年七月に常総市にて誕生しました。高校卒業後は、地元の製菓工場にて勤務しておりました。婿養子として結婚し、子供にも恵まれましたが五年前に若くして認知症になってしまいました。筑波キングスガーデンのデイサービスの利用を始めてショートステイを利用したのちに平成三十一年一月から特養へ入所しました。日中は、テレビを観たりして過ごしている様です。家族が面会に行った際には、恥ずかしながらも喜ばれております。これからも穏やかな日々が過ごせる様に願っております。



緊急時の備え AED

生活と救命モード
施設長 小川内秀樹
大変なことになってます！来て下さい！夜勤明けのヘルパーさんから 朝食介助中に連絡が来た。食事の時間帯での緊急連絡には、一瞬にして様々な事柄が頭によぎる。他ヘルパーに声をかけながら、ショートステイの食堂に駆けつける。床に横たわっている男性ご利用者のA様が、副主任ヘルパーにより抱えられており、呼吸していない、意識も明らかにではない状態になっていた。床には食事が散乱。ヘルパーさん達が、A様に断続的に呼びかけ、詰まっと思ったと思われる食物を出す為に、ハイムリツク法を用いて、決死に何度も救急措置。同時に救急車を要請を行い、AEDも準備。緊張が高い時間が続いたが、救急隊員が到着する前に、息を吹き返して意識が戻った。副主任が付き添い、無事に救急車で医療機関へ搬送する事ができた。

八月のボランティアと実習生
山田国昭様 風見とみ子様 牧野和子様 山田千恵様
佐藤ゆう子様 柏木裕美様 大塚満牧師 矢花光様
協力牧師の方々
いつも専心働きありがとうございます。

このような状況において、処置の他に、もう一つ大事な事がある。周囲におられるご利用者の動揺をできるかぎり配慮すること。救急対処の張りつめた空気感には、思う以上に影響が大きい。日常の空気感に戻すには、声をかける事が大切な事を職員達が自覚している。また、付き添った職員の抜けた部分を他の職員が賡々行っている。緊急措置の際の連携は、まさに日常ケア連携の延長線上にある。

サマーフェスティバル

八月二十三日サマーフェスティバルを行いました。
当日の朝は雨が降っており、天気心配でしたが、開始時間が近づくにつれ、雨は上がりました。ご利用者にはアロハシャツを着て頂き、南国の雰囲気味わって頂きました。当日は、やさそばや、フランクフルト、かき氷、アイス等の出店がありまして。ご利用者も 美味しいと沢山食べておられ、今年はアイスクリームとラムネが人気でした。
「ご家族様からも、楽しかったです」とお言葉を頂きました。また一つ、いい思い出が増えました。



アロハを着て準備万端！




祭りの雰囲気笑顔が弾けます

神によつて 私たちは力ある働きをします。


詩編 108編 13節

家族みんなで



アロハシャツでツーショット

夏の思い出



写真館

かき氷最高！



九月の誕生者

斉藤福松様	昭和三年	九月十五日	九十一歳
増田千代様	大正十五年	九月十五日	九十三歳
野澤千枝子様	昭和八年	九月十七日	八十六歳
有田孝子様	昭和二十二年	九月十九日	七十一歳
浦和おち様	大正十二年	九月二十日	九十六歳

お誕生日おめでとうございます。

キングス・ガーデンの花火

理事長兼総合施設長 宇都宮和子

暑かった夏の厳しさも今は少し懐かしく、秋の風を感じています。蝉の音が消え、通動途中、田んぼの稲穂も重そうに頭を垂れ、収穫を待っています。自然の恵みとその変化に驚くばかりです。先日のサマーフェスティバル、ご家族の皆様も沢山参加頂き、ご利用者さんと共に楽しい時間を過ごして下さい。一精に交わりを持って頂き感謝です。又、レインボーミニジャック佐々木潤さんやボランティアのフラダンスの皆様は今年も素敵なダンスと歌でサマーフェスティバルを盛り上げてくれました。花が咲き、大きな歓声が上がっていました。事故もなく多くの人が交えられサマーフェスティバルも無事に終えることが出来た事、本当に感謝です。キングスガーデンの花火、海道の花火のように綺麗でしたね。ご家族の声。スタッフの準備と手際の良さにはいつも驚かされます。感謝！

バザーのご案内

日時 十月二十三日 土
十時～十四時
場所 ふれあいの杜ロータリー

☆日用品・雑貨・手作り品
☆手作りクッキー
☆アトラクション
☆演奏
☆模擬店

皆様のお越しを心より
お待ちしております。



相談員日誌
積み重ねね②
宮本真次

巨人の丸選手が四年前から打席後にベンチで付けている「知ノト」というものがある。ホームランを打っても浮かれることなく、その打席での投手の配球や打席で感じたことを手帳に記している。この姿を見る度、彼は才能だけで野球をやっているのではなく、こうやって情報を積み重ねる努力があるのだなと感じる。

直ぐに結果が出るものではない中、普通であれば頓挫しそうですが、日々、「喜一」憂せず地道にコツコツと自己分析を積み重ねたこととで一流選手へ昇華を遂げたのであろう。たとえ負けても下を向かず、やるべき事をしつかりやって、各々がその日の役割を全うして良い試合をする。彼のこの姿勢は私達の日々の働きにも相通ずるものではないだろうか。